

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 1 日

事業所名Gripキッズ両国緑校

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	4	4		適切かは何とも言えないが、 工夫はされている。 学習や療育の内容によって机 の配置を工夫している。	
	② 職員の配置数は適切である	6	2		他校舎と連携し人員配置の調 整を行っている。 安全に配慮しながら、配置人 数のみではなく、療育の質の 向上を目指している。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている			8	バリアフリーを必要とする利用者がいな いが、段差をなくすなどしていく。 工夫はされているが、改善点はあると思 う。 段差はない。	
業務 改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 している	4	4		日々の話し合いやミーティング などスタッフ間で多く行ってい 情報の共有や振り返りを行っ ている。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	8			保護者のかたのアンケートな どを取り意向を把握している。 LINEなどのICTを利用したや り取りもある。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	4	4		実施しています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	5	3			
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	6	2		パート職員に対しても外部研 修を受講する機会も設けてい る。	
適切 な支 援の	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	8			できている。職員だけでなくア ルバイト・パート職員含め広く 情報を収集している。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	6	2		アセスメントシートに子供の情 報など聞き取りした情報が記 載されているのでいつでも確 認できる状態。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	4		スタッフだけでなく児童自ら立 案、企画、準備を行う活動も実 施することがある。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	4	4		以前にも同じプログラムを取り 組んでいても バージョンUPなどステップ アップも望めるように企画して いる。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
の 提 供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	4		個々の支援に細かく取り組んでいる。 長期休暇中はより楽しく学べるものを設定している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	3		全ての児童生徒に合わせることは難しいが、状況に可能な限り対応しています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	8			毎日ミーティングで確認を行っている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	3		療育終了後、職員間での情報共有やケース記録の記入などを行っています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			毎日ケース記録に記述している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	4		面談など直接対面などをご希望でも随時受付しております。またLINEにてご相談頂いております。それをもとに判断しております。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	3		実施	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	2		行っております。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8			職員一人ひとりが丁寧に対応を心がけ利用の前日にはリマインドとして保護者様にも確認を行っています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		8		医療的ケアを必要とする利用者がいない。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	2		ファイル等でも情報が視覚化されている。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		8		まだ卒業生を輩出していない。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	3		定期的を受講している。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		4	4	特に設けていない。 児童館や学童に通われている方が多数いるため。	
㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	3	3				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	6	2		送迎時含めコミュニケーション が取れている。 LINEや電話、直接顔を合わせ た時などに連携を密に行うこ とを心がけている。	
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	4	4		面談、送迎時等支援が必要な 方にお話し等を聞きながら実 施。	
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等 について丁寧な説明を行っている	3	5		契約、または体験時に 保護者一人ひとりに対して丁 寧に行っている。	
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	2		ミーティングの場でも面談の内 容を共有し、気軽にLINEにて ご相談頂くこともあります。	
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している		4	4	開所後すぐにコロナ禍になり、 保護者会を設ける機会がな い。実施してほしい需要がほ ぼないが声があればすぐに実 施を検討している。	
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応している	5	3		管理者、児発管を筆頭に対応 している。	
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	8			集団活動の予定やイベントの お知らせを、紙での案内や LINEなどのICTツールを使っ て行っている。	
	㉗	個人情報に十分注意している	6	2		注意はしているが、ミスは起 ると想定し、減らしていくた めの情報共有や、以下に減ら していくか検討する。	
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	8			その方に合わせた連絡、意思 疎通を行っている。	
非常時等の対応	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っている		4	4	町内会の活動のための時間を 作る。 招待は難しいが、地域との交 流を検討している。	
	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知している	5	3		マニュアルは契約時にお話し をしています。	
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	8			実施している。	
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	5	3		行政からの動画視聴、社内研 修、日々のミーティングを通し ての確認などを行っている。	
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、放課 後等デイサービス計画に記載している	6	2		保護者との面談などでのコ ミュニケーションが取れてい る。	

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	8			アレルギーについての聴き取り はしっかりと行っている、	
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している				事業所内で共有されている。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。